

## 【平成25年度募集案内】愛知県立農業大学校



# ニューファーマーズ研修

※この研修は青年就農給付金（準備型）の受給対象の研修です。

### 1 目的

Uターン就農者（農家出身）・新規参入者（非農家出身）の方に**農業経営に必要な基礎的知識・技術などを効率的に習得していただき、円滑に就農できるよう支援**します。

### 2 受講資格

心身ともに健康で、愛知県内で農業経営（**農業所得概ね200万円以上**）を目指す方で、**18歳以上45歳未満**の方（平成25年4月1日現在）。

ただし、**概ね55歳以下**の方で、農業経営に必要な**農地を所有している方**又は**借地できる見込みがある方**であれば、**受講できます**。

### 3 定員 20名

### 4 募集期間

平成25年2月25日（月）から平成25年3月25日（月）まで

### 5 研修期間

平成25年4月26日（金）から平成26年2月27日（木）までの10か月間。

### 6 専門コース

花きコース、作物コース、果樹コース、野菜コース

### 7 研修内容

講義・演習等（計180時間）及び実習。詳細は、研修カリキュラムを参照してください。

実習は、次の**2つからどちらかを選択**してください。

- (1) 自己ほ場（研修生のほ場）（両親等から技術的な指導を受けることが可能な方）
- (2) 先進農家（研修生で選定）

### 8 申込み方法及び注意事項

#### (1) 提出書類等

就農予定地（未定の場合は居住地）を所管する農林水産事務所農業改良普及課（以下「農業改良普及課」という。所在地等は別紙参照。）へ**平成25年3月25日（月）**までに次の**アからウの書類等**を持参してください。記載内容の確認がありますので、郵送では受け付けしていません。

ア 受講申込書【様式1】

イ 履歴書【様式2】

ウ 就農希望概要書【様式3】

- (2) 実習において、「先進農家での実習」を希望する場合は、事前に農業改良普及課と相談するなどして、受け入れ農家を選定した上で、申し込んでください。

- (3) 受講申込みされた方は、農業大学校で**4月12日（金）午後1時30分**から、**事前説**

明会及び面接を実施しますので、必ず出席してください。受講の可否は、書類審査・面接等により決定し、4月19日（金）までに本人に連絡します。

(4) 受講料は無料ですが、教材費等は研修生の負担となります。

(教材費等の自己負担予定額 約17,000円)

(5) 受講が決定した方は、必ず各自で傷害保険・傷害共済等に参加してください。研修中の事故について、当校は一切の責任を負いません。

(6) 青年就農給付金（準備型）の受給を希望する研修生は、実習時間を900時間以上確保する必要があります。なお、受給を希望する場合の実習先の先進農家とは、農業経営士、青年農業士もしくは以下の項目を満たす必要がありますので、農業大学校研修部生涯学習グループまでお問い合わせください。

ア 農場実習などを効果的に指導できる専門知識、能力、経験を有する研修責任者や研修指導者が在籍しており、研修生に対して、研修期間を通して就農に必要な技術や知識を習得させることができること。

イ 農場実習が効果的かつ安全に実施できる農業機械、施設等が整備されていること。

ウ 農業実習を行うほ場の使用収益権を有していること。

(7) 研修生が定員に満たなかった場合、県内の市町村及び農業協同組合で実施される新規就農者向け研修の受講者から聴講生（講義の聴講のみの受講）の申込みを5月24日（金）まで受け付けます。なお、申込みに当たっては、8の(1)のア～ウの提出書類に加えて市町村及び農業協同組合が実施する研修を受講していることが確認できる書類（受講決定通知など）を添付してください。

## 9 修了要件

次の2つの条件を満たした場合は、修了証書を授与します（聴講生は該当しません）。

- (1) 履修時間の8割以上を受講
- (2) 就農のための経営計画書を提出

## 10 研修場所

愛知県立農業大学校（最寄り駅 名鉄 美合駅下車徒歩10分）

岡崎市美合町字並松1-2

## 11 連絡先

愛知県立農業大学校研修部研修科生涯学習グループ（石代）

電話：0564-51-1034（研修部直通）

FAX：0564-51-4831

●研修カリキュラム

基本的には、これまで農業に関わる実務的な教育を受けていない人を対象とした**基礎的な内容**です。  
講義・演習・校外学習は、原則として、火曜日又は木曜日のいずれかに行います。

区 分 ・ 科 目	時間	内 容	対象		
行事等	開 講 式	3.0	校長あいさつ、オリエンテーション、自己紹介	全コース	
	就 農 支 援	36.0	就農経営計画作成、プロジェクト、個別面談等		
	発 表 会 ・ 閉 講 式	6.0	校長あいさつ、就農経営計画・プロジェクト発表、修了証授与		
	<b>履修時間小計</b>		<b>45.0</b>		<b>日数換算 7.5 日</b>
学 科	講義	農業情勢と愛知県の農業	3.0	世界の食料事情と日本の農業情勢、愛知県の農業の特色	全コース
		農 業 と 環 境	3.0	農業が環境に与える影響、環境に配慮した農業生産	
		農 産 物 の 流 通	3.0	農産物の流通経路、市場システム	
		農 作 業 安 全	1.5	農作業事故の発生原因と防止対策	
		農 業 経 営 の 基 礎	6.0	農業経営の概念、経営計画、経営管理、決算書	
		農 業 簿 記 の 基 礎	9.0	仕訳帳の基礎、決算処理、棚卸台帳、減価償却表の作成	
		税 制 の 基 礎	6.0	所得税、消費税、相続税、固定資産税の概要、青色申告	
		農産物のマーケティング	3.0	マーケティングの概念、構成要素、経営戦略	
		経 営 ( 財 務 ) 分 析	3.0	複式簿記の意義、経営分析、会計と税務、分析の方法	
		農 地 制 度 の 基 礎	1.5	農地の現状、制限事項、農地の貸借	
		農 業 金 融 制 度 の 概 要	1.5	制度資金の種類と目的、種類別の利用方法	
		就農支援制度の概要	3.0	新規就農者の動向、就農計画認定制度、就農支援資金	
		新規就農者の経験談	3.0	就農準備、就農後の実情、農業への思い	
		先輩就農者からの提言	3.0	農業者の思い、日本農業の実体と課題、将来展望	
		農 業 情 報 の 利 用	3.0	農業情報の収集、分析、利用、発信	
		食 育 概 論	3.0	食育の概念、健康増進、食事バランスガイド、野菜の効用	
		農産物のカラーコーディネート	3.0	色彩の基礎、言葉(イメージ)と色の関係、配色の基礎	
		相手に伝える話し方	3.0	わかりやすい話し方のポイント、聴き方、言葉の選び方	
		プロジェクト活動の意義と進め方	1.5	プロジェクト活動の意義、展開過程、種類、効果	
		植 物 生 理	9.0	植物の構造、植物と無機栄養、光合成、植物の成長	
		病 害 の 診 断 と 防 除	9.0	農作物の病害と診断・防除	
		害 虫 の 診 断 と 防 除	9.0	農作物の害虫と診断・防除	
		雑 草 防 除	3.0	雑草の種類と生態、除草技術	
		農薬の正しい使い方	3.0	農薬の基礎知識、ポジティブリスト制度、安全使用	
		土 壤 肥 料	6.0	土壌の生成・種類・構成、土壌の物理的・化学的性質	
			6.0	肥料と施肥、作物・土壌条件に見合った施肥設計技術	
		環 境 保 全 型 業	3.0	土づくり、減化学肥料栽培技術	
	3.0		病害虫の発生予察、減農薬栽培技術		
	農 業 気 象	3.0	農業気象の基礎		
	演習	土 壤 診 断	6.0	土壌診断の基礎、サンプリング、分析・診断	
	講義	花 き 栽 培 論 I	12.0	花き栽培の基礎	花き
		作 物 栽 培 論 I	12.0	作物(水稻、麦、大豆)栽培の基礎	作物
		果 樹 栽 培 論 I	12.0	果樹栽培の基礎	果樹
野 菜 栽 培 論 I		12.0	野菜栽培の基礎	野菜	
<b>履修時間小計</b>		<b>135.0</b>	<b>日数換算 22.5 日</b>		

区	分	科	目	時間	内	容	対象
		新規就農するためのノウハウ		(3.0)	意志決定、就農準備、計画、農地の取得、就農後のこと	希望者	
		市町村における就農支援		(1.5)	豊田市における事例(農ライフ創生センター)		
		花き栽培論Ⅱ		(12.0)	花き栽培の実用的技術		
		作物栽培論Ⅱ		(12.0)	作物(水稲、麦、大豆)栽培の実用的技術		
		果樹栽培論Ⅱ		(12.0)	果樹栽培の実用的技術		
		野菜栽培論Ⅱ		(12.0)	野菜栽培の実用的技術		
	演習	生産高度化		(24.0)	花(2回)・作物(1回)・果樹(2回)・野菜(2回)の栽培等に関する最新の専門的な知識・技術		
		パソコンによる農業簿記		(9.0)	パソコンによる農業簿記の実務		
		農産物販売のためのホームページの作成		(9.0)	農産物販売のための上手な写真の撮り方とホームページの作成		
校外学習	研修部・校外学習		(30.0)	先進農家(農業法人・新規就農など)、農業総合試験場など	希望者		
	花き専攻・校外学習		(24.0)	先進農家(鉢物・切花など)など			
	作物専攻・校外学習		(24.0)	先進農家(農業法人など)、カントリーエレベータなど			
	果樹専攻・校外学習		(24.0)	先進農家(ナシ・イチジク・ブドウ・カキ・ミカンなど)など			
	野菜専攻・校外学習		(24.0)	先進農家(メロン・キュウリ・ナスなど)など			
<b>合計</b>				<b>180.0</b>	<b>日数換算 30.0 日</b>	<b>(ただし、希望者分は含まず)</b>	
実習	どちらか選択	自己ほ場		900.0	自己ほ場で実習 (両親等から技術的な指導を受けることが可能なこと。)	全コース	
		先進農家		900.0	先進農家で実習(ただし、先進農家は各自で選定する。)		
	<b>目標履修時間合計</b>				<b>900.0</b>		<b>日数換算 150.0 日</b>
免許・技能	免許	大特免許		18.0	大型特殊免許(農耕車限定)取得のための講習 <b>(別に試験を受ける必要あり)</b>	希望者	
	免許	けん引免許		24.0	けん引免許(農耕車限定)取得のための講習 <b>(別に試験を受ける必要あり)</b>		
	技能	大特トラクタ作業		24.0	耕起作業等作業機の操作方法及び農業機械の構造、整備等の知識習得		
	技能	農業機械士等		12.0	農業機械利用技能に関する知識・技能の習得 <b>(大特免許などの要件あり)</b>		
	技能	小型車両系建設機		13.0	バックホー等の知識及び基本操作等の技能習得、修了証の取得		
	技能	アーク溶接		21.0	アーク溶接の取り扱い、知識及び基本操作等の技能習得、修了証の取得		
	技能	フォークリフト		11.0	フォークリフトの知識及び基本操作等の技能習得、修了証の取得		
	技能	刈払機		7.0	刈払機の取り扱い、知識及び基本操作等の技能習得、修了証の取得		

注1: 午前部8:50~10:20、10:30~12:00、午後部13:00~14:30、14:40~16:10

注2: 取得可能な免許等(ただし、別途受講料・手数料など必要です)

大型特殊免許(農耕車限定)、けん引免許(農耕車限定)、小型車両系建設機械特別教育修了証、アーク溶接特別教育修了証、フォークリフト技能講習修了証(1t以上)、刈払機取扱作業安全衛生教育修了証

注3: 内容等は、都合により変更することもあります。

様式1

平成25年度ニューファーマーズ研修受講申込書

平成 25 年 月 日

愛知県立農業大学校長殿

住所  
氏名 印

愛知県立農業大学の農業者生涯教育研修「平成25年度ニューファーマーズ研修」を受講したいので、関係書類を添えて申し込みます。

1 受講申込みの理由

2 専門コース（希望するコースどれか1つを○で囲んでください）

花きコース 作物コース 果樹コース 野菜コース

3 研修生の種別（該当する項目を○で囲んでください）

受講生 聴講生

4 実習場所（該当する項目を○で囲んでください。聴講生の場合は不要。）

自己ほ場 先進農家（注）

（注）先進農家を選択した場合は、受入農家名等を記入してください。

住所

氏名（法人の場合は法人名及び代表者氏名）（農業経営士・青年農業士・その他）

5 添付書類（聴講生は様式1、2、3に加えて市町村及び農業協同組合が実施する新規就農者向け研修を受講していることが確認できる書類（受講決定通知など））

(1) 履歴書 【様式2】

(2) 就農希望概要書【様式3】

様式 2

# 履 歴 書

年 月 日現在

写真を貼る位置

縦4cm×横3cmの  
写真を使用  
してください。

ふりがな 氏 名
-------------

年 月 日生 (満 歳)	男・女
--------------	-----

ふりがな 現住所 〒	TEL
	FAX
	携帯TEL
	E-mail (パソコン)

年	月	最終学歴・職歴等

年	月	免許・資格

家族氏名	性別	年令	家族氏名	性別	年令

その他記載事項
---------

## 就 農 希 望 概 要 書

住所：

氏名：

1 将来の農業経営の構想

2 現状の農地・施設等の所有状況

経営面積	農地（a）			施設面積（㎡）		その他（a）
	水田	畑	果樹園	ガラス	ビニル	（      ）

3 就農計画

営農部門		就農時期	年      月	
就農予定地 <small>（自己所有地と借地の別）</small>	（自己所有地・借地）			
農地使用貸借方法 <small>（借地の場合のみ記入）</small>	農地法貸借    ・    農業経営基盤強化促進法利用権設定			
就農・経営形態	個人経営    ・    法人経営（農事組合法人、株式会社、その他）			
作目・経営規模  ・ 所得目標		作目・畜種	規模（a・頭・羽）	所得目標（万円／年）
	現状			
		計		
	計画 （5年後）			
		計		
	営農部門の 農業労働力	続柄	氏      名	年齢
本人				

別紙

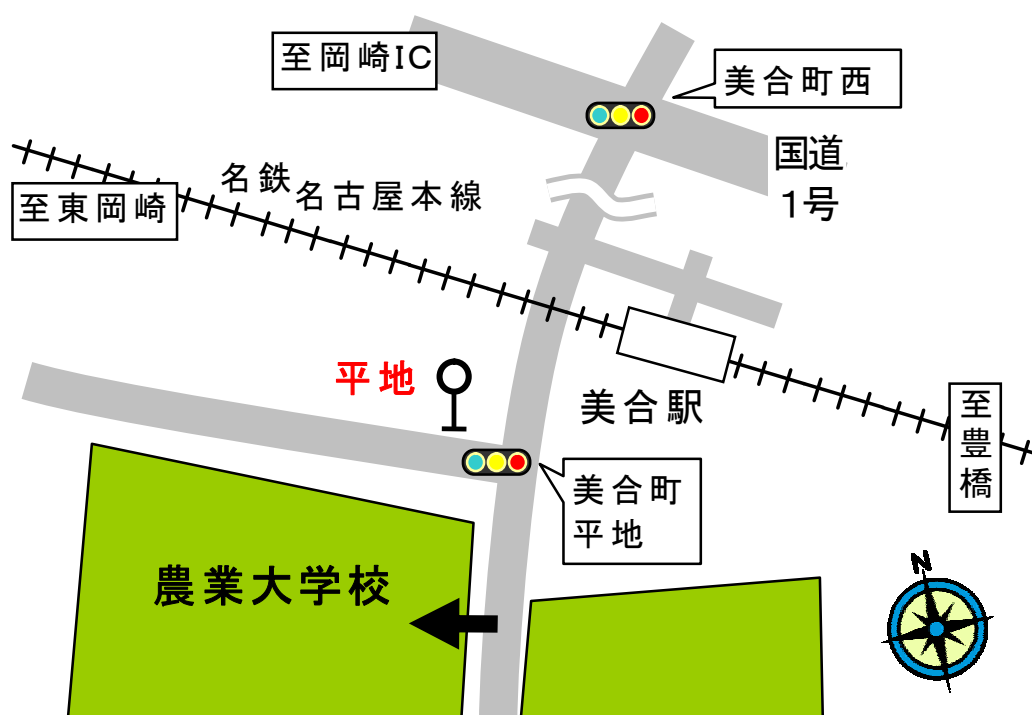
○受講申込書の提出先 農林水産事務所農業改良普及課の所在地及び連絡先

名 称		所 在 地	電話番号 FAX番号	管 轄 区 域
尾張農林水産事務所	農業改良普及課	〒460-0001 名古屋市中区三の丸 2-6-1(三の丸庁舎3階)	(052)961-8094 (052)961-1540	名古屋市、一宮市、瀬戸市、春日井市、犬山市、江南市、小牧市、稲沢市、尾張旭市、岩倉市、豊明市、日進市、清須市、北名古屋市、長久手市、愛知郡、西春日井郡、丹羽郡
海部農林水産事務所	農業改良普及課	〒498-0003 弥富市前ヶ平 2-49	(0567)65-4312 (0567)65-2224	津島市、愛西市、弥富市、あま市、海部郡
知多農林水産事務所	農業改良普及課	〒475-0903 半田市出口町 1-36 (知多総合庁舎2階)	(0569)21-8111 (0569)23-4260	半田市、常滑市、東海市、大府市、知多市、知多郡
西三河農林水産事務所	農業改良普及課	〒446-0066 安城市池浦町境目 1	(0566)76-2400 (0566)76-3194	岡崎市、碧南市、刈谷市、西尾市、安城市、知立市、高浜市、額田郡
豊田加茂農林水産事務所	農業改良普及課	〒471-8566 豊田市元城町 4-45	(0565)32-7509 (0565)35-0416	豊田市、みよし市
新城設楽農林水産事務所	農業改良普及課	〒441-2301 北設楽郡設楽町田口字小貝津 6-2	(0536)62-0546 (0536)62-1533	新城市、北設楽郡
東三河農林水産事務所	農業改良普及課	〒440-0833 豊橋市飯村町高山 11-40	(0532)63-3529 (0532)63-7023	豊橋市、豊川市、蒲郡市
	田原農業改良普及課	〒441-3427 田原市加治町南恩中 7-5	(0531)22-0381 (0531)23-1304	田原市

(H25.2.20 現在)



○愛知県立農業大学の交通案内



【公共交通機関利用】

○名鉄名古屋本線「美合」駅下車 徒歩約10分

○JR東海道本線「岡崎」駅下車 名鉄バス「東岡崎（庄司田・緑丘経由）」か「市民病院（庄司田・美合経由）」行きで 約20分 「平地」下車 徒歩約5分

【自家用車利用】

○東名高速道路岡崎インターチェンジから約10分

【研修場所】

中央教育棟（正門から直進した先に見える、時計台のある3階建ての建物）